

日本医療検査科学会医療情報委員会
令和6年度第1回委員会議事録

1. 日時：2024年4月13日（土） 14：30～15：10
 2. 場所：場所：金沢市文化ホール（ZoomによるWeb併用）
 3. 現地参加：片岡、中島、瀬戸山、下坂、湯地、田中、油野、萩原、大川先生（担当理事）
Web参加：長原、古賀、佐藤、増田、
欠席：田中、前田、松下
 4. 配布資料
資料1：前回議事録
資料2：2024年度活動予定
 5. 議事
 - 1) 前回議事録（2023年度第2回委員会）、2024年度活動予定の確認（資料1、2）
 - ・資料1、2に基づき、片岡委員長より前回議事録、今年度活動予定の報告がなされた。
 - ・前回議事録、今年度活動予定に関して、委員からの発言はなかった。
 - 2) 審議事項
 - ・第6回医療情報委員会技術セミナーのテーマ、講師について
委員会ならびに委員会後のメール審議の結果、以下の内容にて行うことか決定した。
テーマ：政府が推進する医療情報連携ネットワークに向けての臨床検査システムの在り方
日程：2024年10月6日（日） 13:00～14:50（110分）、1演題：20分程度
司会：片岡 浩巳（川崎医療福祉大学）、長原 三輝雄（北陸大学）
1. 医療情報連携ネットワークプロジェクトを総論的に紹介
中島 直樹（九州大学）
 2. 臨床検査項目分類コード JLAC11 の取り組みについて
堀田 多恵子（九州大学病院）
 3. JLAC11 普及に向けての取り組み、課題
康 東天（九州大学）
 4. LIS および HIS における部内検査コードと標準コードの運用の在り方、課題
片岡 浩巳（川崎医療福祉大学）
 5. 部内コードと標準コードのマッピングの課題（AI を用いたマッピング事例）
瀬戸山 大樹（九州大学）

・ JLAC11 の普及促進、JLAC10 からの運用移行に関する諸問題について

上記のセミナーに関する審議の中で、中島委員より以下の説明がなされた。

- ▶ 全国医療情報プラットフォームの中で電子カルテ情報共有サービスの運用開始が予定されており、その中で医療情報は HL7FHIR で取り扱う必要がある。その為、電子カルテよりデータを直接出す場合、電子カルテ内で JLAC10・11 を使う必要が出てくる。
- ▶ クリニックは検査センターを利用する 경우가大多数であり、対応は早いと考えられる一方で、自施設に検査室を有する病院は、JLAC10・11 に対応する必要があり、更に FHIR で出すことを考えると電子カルテ・LIS レベルでの早急な対応が迫られる点が課題である。

(3) その他

次期委員長（2025 年度～）について審議がなされ、湯地委員が次期医療情報委員長となることが決定した。また、長原副委員長も定年退職を控えており、副委員長についても後任を選出する必要があり、今後検討していくこととなった。また事務局についても次年度より油野から田中委員へ交代となる内諾が得られている。

4) その他

(1) 次回（2024 年度第 2 回委員会）開催予定について

日時：2024 年 10 月 5 日（土）で 14:30 ～ 開催予定

場所：パシフィコ横浜（現地と Zoom 会議の両方で開催予定）

文責 油野